



平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



平成30年1月26日

上場会社名 株式会社 アクシーズ
コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂

TEL 099-223-7385

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	9,866	2.5	1,661	6.5	1,739	8.7	1,154	10.6
29年6月期第2四半期	9,626	0.2	1,560	18.3	1,600	18.4	1,043	22.2

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 1,160百万円 (6.9%) 29年6月期第2四半期 1,085百万円 (29.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	205.49	
29年6月期第2四半期	185.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	14,754	11,482	77.8
29年6月期	13,777	10,575	76.8

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 11,482百万円 29年6月期 10,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		45.00	45.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.0	3,000	1.2	3,100	1.4	2,000	2.0	356.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	5,617,500 株	29年6月期	5,617,500 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	1,608 株	29年6月期	1,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	5,615,965 株	29年6月期2Q	5,616,021 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み緩やかな回復が見られるものの、米国の政策運営や北朝鮮問題をはじめとする地政学的リスク等から、先行き不透明な状況が続いております。

鶏肉業界におきましては、消費者の健康志向や国産志向等を要因として鶏肉需要は引き続き安定しているものの、主要製造コストである飼料価格は、飼料用穀物価格の値上がり等により上昇傾向で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高98億66百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。利益面につきましては、営業利益16億61百万円（同6.5%増）、経常利益17億39百万円（同8.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億54百万円（同10.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品

食品事業におきましては、引き続き製造能力増強を実施し、主要取引先向けの出荷数量が増加いたしました。この結果、売上高は84億67百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益は、14億76百万円（同6.0%増）となりました。

②外食

外食事業におきましては、前事業年度における店舗閉鎖の影響を受けたものの、販売単価の向上やクリスマス商戦の好調等によって利益率の改善が見られました。この結果、売上高は13億98百万円（前年同四半期比5.2%減）、セグメント利益は、1億82百万円（同10.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億76百万円増加し、147億54百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億69百万円、受取手形及び売掛金が3億4千万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ69百万円増加し、32億71百万円となりました。これは主に、未払金が2億24百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億7百万円増加し、114億82百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億1百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、投資活動及び財務活動により資金がそれぞれ1億62百万円及び2億50百万円減少したものの、営業活動により資金が10億82百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ6億69百万円（12.4%）増加し、当第2四半期連結会計期間末には60億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、10億82百万円の資金増加（前年同四半期は10億50百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が17億39百万円、減価償却費が2億45百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、1億62百万円の資金減少（前年同四半期は23億95百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億95百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、2億50百万円の資金減少（前年同四半期は1億96百万円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額が2億50百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、2017年8月4日に公表しました業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,424	6,093
受取手形及び売掛金	1,678	1,983
製品	323	390
仕掛品	270	263
原材料及び貯蔵品	597	569
その他	372	362
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,666	9,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	539	514
工具、器具及び備品(純額)	1,400	1,328
土地	2,353	2,353
その他(純額)	175	277
有形固定資産合計	4,470	4,474
無形固定資産	5	36
投資その他の資産		
投資その他の資産	636	580
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	635	579
固定資産合計	5,110	5,091
資産合計	13,777	14,754
負債の部		
流動負債		
買掛金	519	456
未払金	1,152	1,377
未払法人税等	714	627
役員賞与引当金	21	—
その他	181	251
流動負債合計	2,589	2,712
固定負債		
社債	35	35
役員退職慰労引当金	131	110
退職給付に係る負債	165	161
その他	279	251
固定負債合計	613	558
負債合計	3,202	3,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	9,614	10,516
自己株式	△1	△1
株主資本合計	10,494	11,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80	87
その他の包括利益累計額合計	80	87
純資産合計	10,575	11,482
負債純資産合計	13,777	14,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)
売上高	9,626	9,866
売上原価	5,908	6,038
売上総利益	3,717	3,827
販売費及び一般管理費	2,157	2,166
営業利益	1,560	1,661
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	7	10
受取家賃	14	15
為替差益	4	2
受取保険金	7	33
その他	8	12
営業外収益合計	45	79
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	4	0
営業外費用合計	4	0
経常利益	1,600	1,739
税金等調整前四半期純利益	1,600	1,739
法人税、住民税及び事業税	583	622
法人税等調整額	△26	△37
法人税等合計	557	585
四半期純利益	1,043	1,154
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,043	1,154

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	1,043	1,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	6
その他の包括利益合計	42	6
四半期包括利益	1,085	1,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,085	1,160
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,600	1,739
減価償却費	237	245
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	△4
受取利息及び受取配当金	△4	△4
その他の営業外損益(△は益)	△21	△60
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△7	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△504	△304
たな卸資産の増減額(△は増加)	12	△32
仕入債務の増減額(△は減少)	49	△62
未払金の増減額(△は減少)	129	169
その他	42	99
小計	1,523	1,731
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△0	△0
賃貸料の受取額	14	15
法人税等の還付額	—	2
法人税等の支払額	△502	△716
その他の収入	15	46
その他の支出	△4	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,050	1,082
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,270	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△179	△195
無形固定資産の取得による支出	—	△33
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
貸付けによる支出	△25	△25
貸付金の回収による収入	73	99
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△3
その他の収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,395	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△196	△250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196	△250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,541	669
現金及び現金同等物の期首残高	3,590	5,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,049	6,083

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2016年7月1日至2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,150	1,475	9,626	—	9,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,150	1,475	9,626	△0	9,626
セグメント利益	1,393	164	1,558	1	1,560

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,467	1,398	9,866	—	9,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,467	1,398	9,866	△0	9,866
セグメント利益	1,476	182	1,659	1	1,661

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。